



# 凜として



長江プライド「当たり前のことを当たり前」

令和4年11月2日(水) 第5号(特別号)

## 文化祭を終えて ～ 頑張った量は必ず感動の量になる ～



With コロナの中、10月29日(土)に本校体育館において、「文化祭」が行われました。生徒会執行部をはじめ、主役である生徒一人一人が、素晴らしい文化祭にしようと、「**百花笑進** ～共に笑って突き進め～」をテーマにその準備や練習を含め頑張った結果、楽しくかつ感動的な一日を過ごすことができました。**生徒の皆さん、ありがとう。**また、育友会役員の方々をはじめ、保護者の皆様のご理解・ご支援により円滑に運営できましたことに感謝します。**本当にありがとうございました。**

### 【閉会の挨拶から】

・・・これまでの準備や練習で皆さんは、目的を同じくする学級や集団における仲間との強い結びつき、美しい合奏・ハーモニーを奏でるために必要な相手を思いやる心の大切さや一つのものを作り上げる達成感、自分の思いを表現する喜びや難しさといったものを経験してきたことでしょう。(中略)本当に今日は、それぞれの発表から“あふれる感謝”や“奏でられた思いやりの心”など、皆さんの人柄のよさや自分たちの学級らしさ、強い結びつきと「**長江プライド**」を再認識することができた最高の時間、最高の空間となりました。・・・



「君がいたから 頑張れた  
支え合うこと 分かち合うこと」  
(最優秀賞2-2「変わらないもの」から)

文化は、英語で“culture (カルチャー)”と言いますが、その語源は「耕す」を意味するラテン語“colere (コレレ)”に由来し、初めは土地を耕す意味で用いられていました。文化にはいくつか定義が存在しますが、英語に入り、「心を耕すこと」といった精神的な所産を重視するようになり、そこから「教養」「文化」も意味するようになったとも言われています。そう考えたならば、今日の文化祭は、「耕された心を表現する場」と言えます。

皆さんの学び舎である**長江中学校には「頑張ることがかっこいい」「当たり前のことを当たり前にする」というこれまで培われてきた素晴らしい文化**があります。今日の文化祭では、凜とした所作、練習を経て成長した姿、真摯に取り組む姿などから生徒一人一人の“耕された心”を存分に見せていただきました。

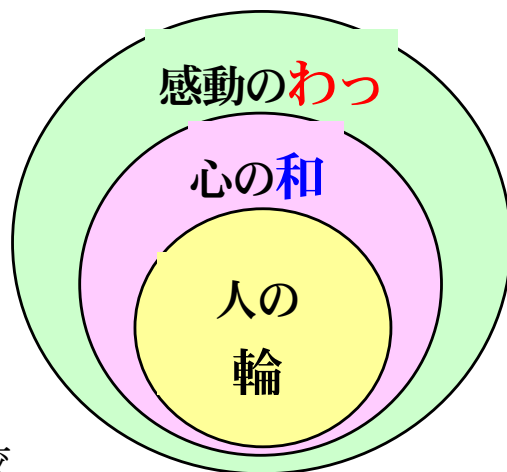
生徒会オープニング劇から始まり、音楽部の発表、ビブリオバトル、合唱コンクールは、それぞれが創意工夫を凝らし、見ごたえのある内容でした。どの発表

も素晴らしかったです。各学級の歌声は一人一人の想いが奏でられたもので、心地よい時間・空間を共有することができました。

文化祭に向けた「練習→リハーサル→本番」のプロセスの中で、右図にある“**三つのWA**”が生み出されたように思います。手をつなぎ（人の輪），心を通わせ，みんなの心が一つ（心の和）になった時，心を揺さぶる大きな感動（感動のわっ）が生まれるのです。「結果のみでなく，プロセスをも大切に」

この日会場にあふれた感動を胸に，これからの学校生活を仲間とのつながりを大切にし，共に学び，さらに成長していきましょう。

## 《 三つのWA 》



人生の全てに意味があるから 恐れずにあなたの夢を育てて Keep on believing  
いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど 笑顔を見せて 今を生きていこう  
(3年合唱曲「手紙 ～拝啓 十五の君へ」から)

### 【1年生】

失敗を怖れず逞しく，明るく頑張ろうとする1年生。努力の結果，本番まで日に日によくなりました。本校の伝統を受け継ぎ，誰もが楽しく学校生活を送れるよう，歌詞にあるように“心をなごませてみんなで語っていこう”“あなたの毎日が世界を創る”仲間とともに希望の明日へと着実に歩を進めていきましょう！

## 強き絆



### 【2年生】

個性的でエネルギーに溢れる2年生。力強い歌声でした。一生懸命歌う姿は気持ちのよいものでした。人は悩みながら，それらを乗り越えて大人になっていくのです。歌詞にあるように“何度も迷いながら たどり着いた場所”“あなたがいてわたしがいてふりかえれば 笑顔がある”仲間とともに成長していきましょう！

### 【3年生】

4月からここまで，最高学年として下学年を引っ張ってきた3年生。学級の誇りをもち互いを称えながら切磋琢磨した練習成果を遺憾なく発揮してくれました。また，学級合唱は両クラスとも皆さんの3年間の想いが込められたもので心に響きました。本番にかける熱い思いは朝夕に聴こえる歌声から日々感じていました。

人生を生きることは楽しいことばかりではありませんが，歌詞にあるように，“荒れた青春の海は厳しいけれど 明日の岸边へと 夢の舟よ進め”仲間と共に練習に汗した時間をいつまでも色あせない記憶としてとどめ，自分を信じて「前へ」。残りの中学校生活も心豊かな学びの中で日々真剣に取り組み，仲間とともに素敵な卒業式を迎えましょう。“強き絆”で！